

T cell Immunological Signatures of Peripheral Blood Mononuclear Cells in Hen' s Egg Allergic Children

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉本, 圭 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.20780/00033282 |

様式 (6)

学 位 審 査

| | | | |
|---|-----------|-------|------|
| 学 位 番 号 | 甲 第 761 号 | 氏 名 | 杉本 圭 |
| 審 査 委 員 会 | 主 査 教 授 | 徳重 克年 | |
| <p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>IgE 抗体関与卵白アレルギーの発症と寛解のメカニズムの解明の一助として、卵白アレルギー児由来の末梢単核球(PBMC)の <i>in vitro</i> におけるオボアルブミン(OVA) への反応を分子生物学的に解析した。</p> <p>2019 年 12 月から 2020 年 9 月までに当院を訪れた卵白アレルギー児から得た PBMC を <i>in vitro</i> で OVA にて 48 時間刺激し、<i>realtime-PCR</i> により、OVA 刺激を受けて増殖する際に発現する STAT シグナルおよび核内転写因子の mRNA の発現を検索した。</p> <p>卵白アレルギー持続群 24 例、寛解群 12 例、対照群 22 例の解析をおこなった。持続群の PBMC は OVA と共培養したところ、STAT1, STAT4, Foxp3, STAT3 の mRNA レベルの発現量が、対照群に比して有意に低下していた。寛解群の PBMC は、同様の刺激で STAT1, STAT4, Tbet, STAT6, GATA3, STAT5, Foxp3, STAT3, ROR γ t の mRNA の発現量が、持続群に比して有意に増加していた。</p> <p>卵白アレルギーの発症および寛解の段階で、<i>dynamic</i> な effector T cells の機能的変化がおこっており、発症には Th2 細胞の相対的な活性化が関与している可能性が示唆された。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p> | | | |